

1. 本県周辺海域の概況(図1, 10/11現在)

・黒潮の流型は、大きく蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼を接岸傾向のまま北東に流去しています。
・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 東経147° 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年より小さめで推移しています。三陸沖～鹿島灘では逆潮(南向きの潮流)が強く、その下層には冷水域が広がっています。

2. 海洋観測結果(10/7～10:調査船「ときわ」)

・時化の影響により、鹿島定線沖合3点(東経141° 30' ~142° 00')と犬吠埼定線沖合4点(東経141° 15' ~142° 00')が欠測となりました。
・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～12に、会瀬・大洗・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図13～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で20.9～21.8℃, 大洗沖で20.5～26.8℃, 鹿島沖で21.6～24.4℃, 犬吠埼沖で24.0℃でした(図2)。
・前月と比べると、表層ではほぼ全域で降温し、下層では冷水の南下が顕著であった会瀬・大洗沖合で大きく降温(-9～-3℃)しました。また、黒潮流路の変動に伴い、大洗沖合で大きく昇温(+5～+10℃)しました(図6～7, 図13～14)。
・平年と比べると、黒潮流路を除いたほぼ全域において、表層は「平年並」、下層(100m深)は「低め基調」となりました。特に会瀬・大洗定線沖合の一部で「極めて低め(-6～-4℃)」となりました(図8～9, 図15～17)。
・潮流の特徴として、沿岸域では逆潮傾向が続いています(最大1.4ノット)。また犬吠埼沿岸～大洗沖合にかけて、黒潮本流の北東への強い流れ(最大4.7ノット)が観測されました。

3. 今後の1カ月の見通し

・黒潮流型は大きく蛇行したC型で推移し、黒潮本流は犬吠埼を現在よりも離岸して北東方向に流去するでしょう。
・親潮の面積は小さめで推移し、親潮第一分枝の先端は北緯39° 30' 東経146° 付近(岩手県沖合)に停滞するとみられます。また、三陸～鹿島灘の沿岸では逆潮の強い状況が続いており、本県海域の下層では広い範囲で冷水の影響が残るでしょう。
・水温を平年と比べると、表層は「平年並」、下層(100m以深)は「低め基調」で推移するでしょう。

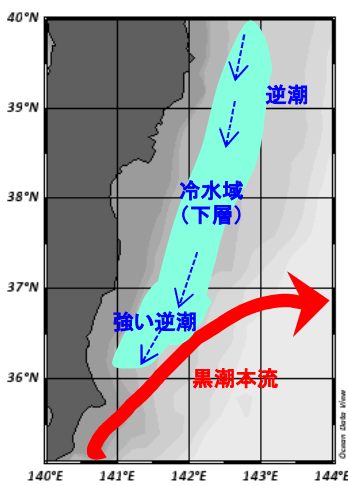


図1 海況の概要 (10月11日現在)

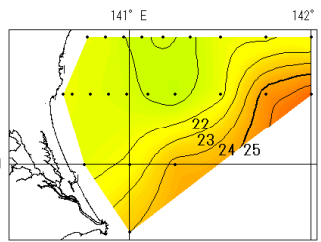


図2 海面水温(°C)

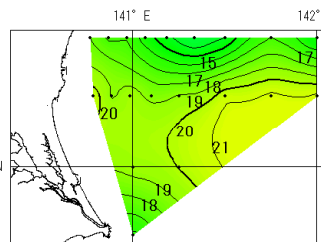


図3 50m深水温(°C)

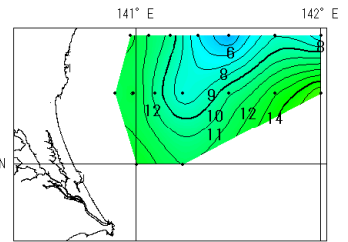


図4 100m深水温(°C)

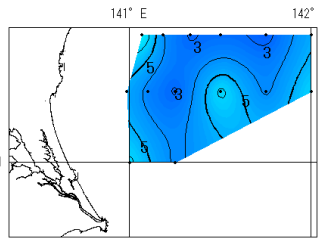


図5 200m深水温(°C)

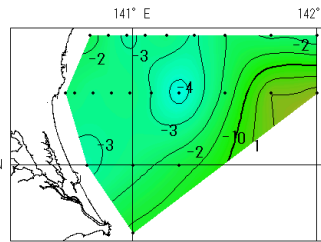


図6 海面水温前月差(°C)

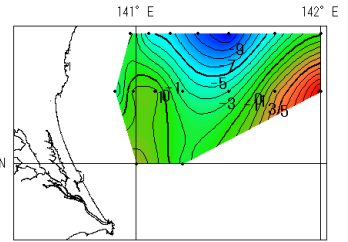


図7 100m深水温前月差(°C)

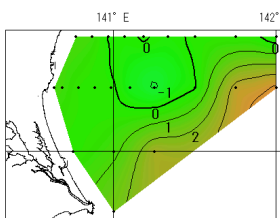


図8 海面水温偏差(°C)

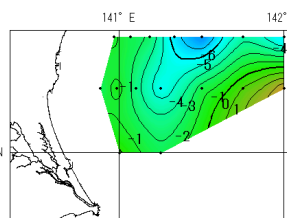


図9 100m深水温偏差(°C)

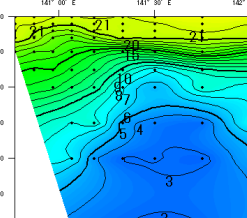


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

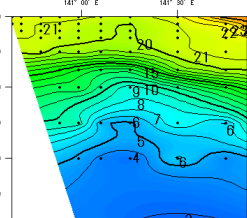


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

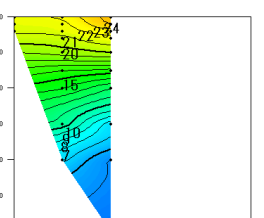


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

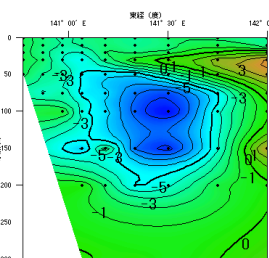


図13 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

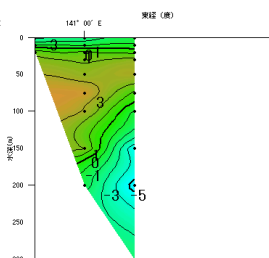


図14 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

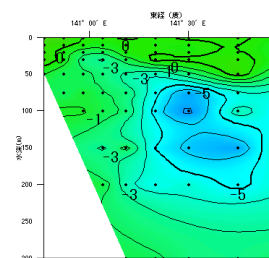


図15 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

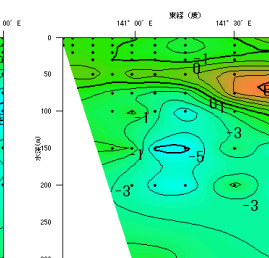


図16 大洗沖鉛直水温偏差(°C)

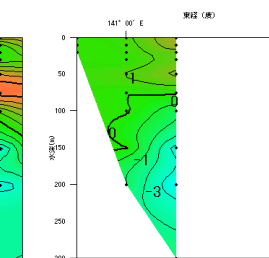


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)